



Helping your child
with literacy and
numeracy at home

Japanese

家庭で子どもの 読み書き能力と 計算能力の発達を 助ける

この小冊子は、低学年のお子さんをもたれる保護者や家庭向けに作成されました。

重要な学習を支える家庭でのアクティビティはたくさんあります。アクティビティは、お子さんといっしょに楽しみながら、学校で良いスタートを切るのに役立つように考えられています。

お子さんがアクティビティに参加し、探してみるように励まし、一人ひとりの反応をサポートしてください。

目次

読み書き能力	4
話す・聞く	5
読む	10
描く・書く	16
計算能力	21
数字・数を数える	22
足し算・引き算	28
パターンを見分ける・作る	32



読み書き能力

子どもの読み書き能力の発達 を助ける

読み書き能力には、聞く、話す、読む、書く、スペリングの力が関係します。考えや感情、アイディアや意見を伝え、話されたメッセージや書かれたメッセージから意味を理解する能力です。



話す・聞く

話したり、聞いたりするスキルは、お子さんの学校での学習の基礎を作ります。こういったスキルは、お子さんが他の人と話し、友情を築き、学校でのすべての活動に積極的に参加する助けになります。

家庭で英語以外の言語を話されている場合、お子さんがその家庭の言語を使い続けるように支援することが大切です。

子どもと話す

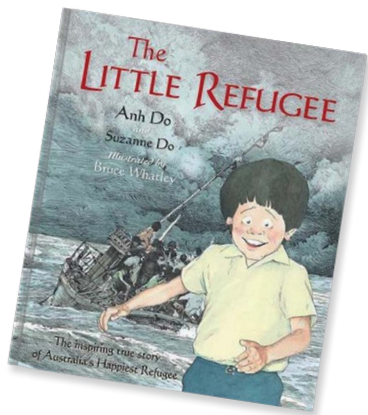
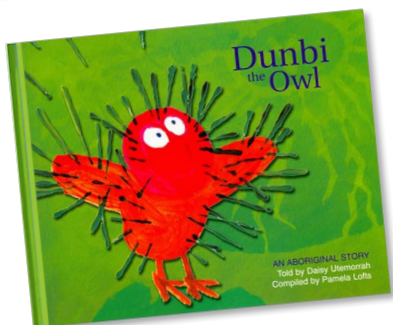
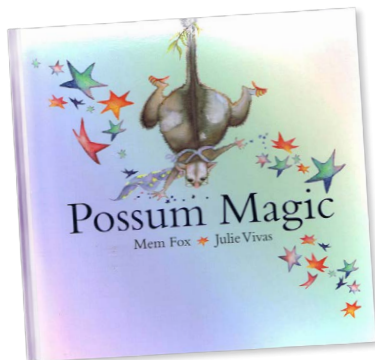
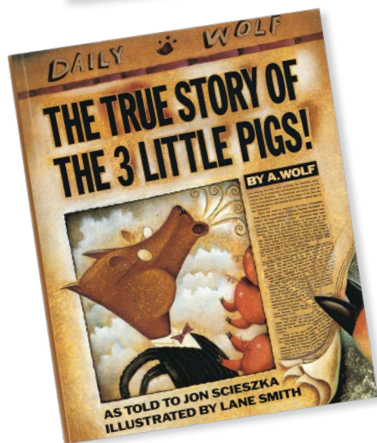
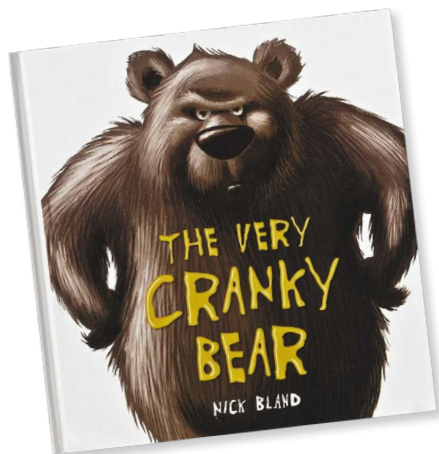
- 例えば、毎日の出来事とか、いろいろなトピックについて**お子さんと話しましょう。**
- あなたの文化、ご自分の話やお子さんの話から**話を分かち合いましょう。**
- 何か起こっていることについて**説明したり、話したり**しましょう。例「今日、学校まで歩いて行って公園を通りましょう。」
- **お子さんに耳を傾け、交互に話すように励ましましょう。**人の話を聞き、会話を通して交流する方法を示しましょう。
- 会話を始める時、あるいはお子さんと話す時、「はい」か「いいえ」だけではなく、それ以上に話す必要のある**質問を**しましょう。例「今日は学校で何をしたの？」
- どのようにと**かなぜで始まる**質問をしましょう。例「公園に鳥は何羽見える？」
- 質問をするとき、**お子さんに答える時間を与え**ましょう。
- **会話を楽しく**しましょう。お子さんと面白い話を作ったり、話したり、歌ったりしましょう。

メッセージを伝える

- **話を再び語りましょう。**話の最初、真ん中、最後にどうなったか話しましょう。
- 本を読んだ後、**登場人物について**、あるいはその本でお子さんが大好きな箇所について話しましょう。
- お祝いの行事に行くとき、または学校へ行くときに、どんなことが起こるかについて**考えを分かち合いましょ**う。行事の後、どんなことがあったか話し、またお子さんの考えや感情を尋ねて共有するように求めましょう。
- 子どもたちの想像力を使って自分の**物語を作る**ようにお子さんをサポートしてください。「それは何についての物語?」「物語に誰が登場するの?」「物語では何が起こるの?」などと質問してください。
- **お子さんに自分の姓名、住所、年齢、お誕生日、電話番号を教えてください。**
- 放課後、お子さんに一日どうだったかと尋ね、例えば「なぜ、そのように感じたの?」と尋ねて**詳しい情報を求めましょ**う。



子どもの英会話と語彙力に役立つ本



単語を増やす

- 話す時、**説明する言葉を使いましょう**。お子さんが、「犬がいる」と言った場合、「小さくて、フワフワした白い犬ね。」などと説明を付け加えましょう。
- **新しい単語を教**えてお子さんの語学力を伸ばしましょう。
- お子さんといっしょに本を読む時、本の中で使われている**単語について話**しましょう。単語の意味についていっしょに話し合いましょう。話の対象となる新しい、面白い単語を見つけたくなるかも知れません。
- 新しい単語を文章の中で使って**練習**しましょう。
- 家の中にある物の**ラベル**を作りましょう。



読む

子どもたちは本などを誰かに読んでもらったり、誰かといっしょに読んだり、あるいは自分自身で読んだりすることで学びます。

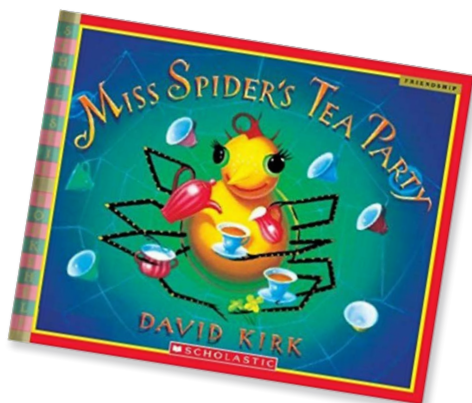
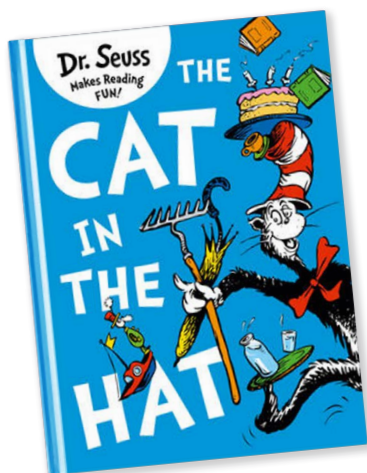
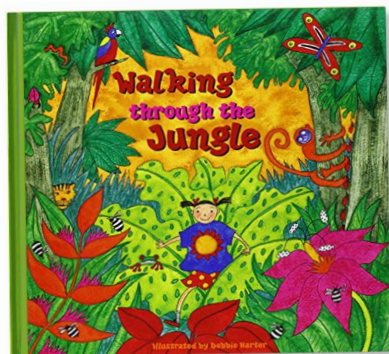
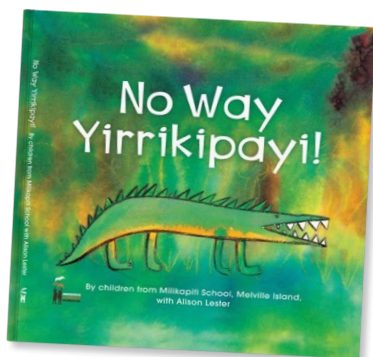
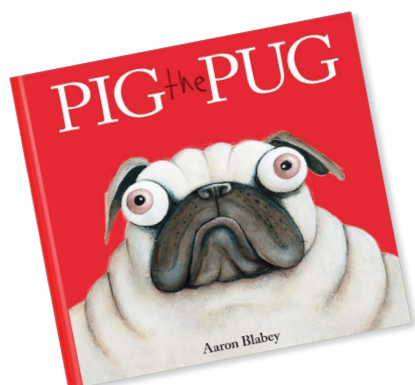
毎日いっしょに読んで楽しみましょう。学校、本屋や図書館あるいはスーパーまで歩いて行く途中などに機会を見つけましょう。

物語、使われている言語、物語にでてくる単語だけでなく単語に使われる文字の発音についても話しましょう。家庭で使われる言語の本も読みましょう。

毎日お子さんといっしょに本を読みましょう

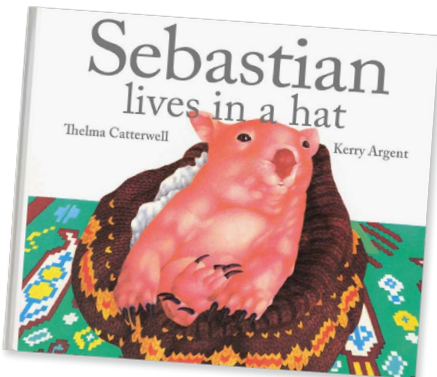
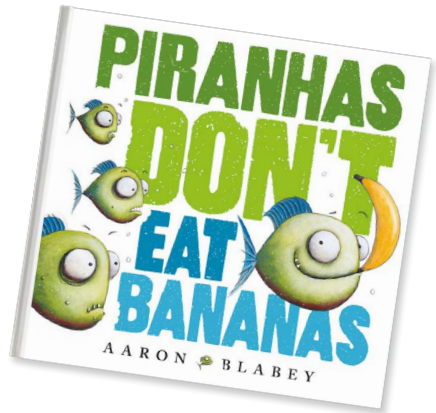
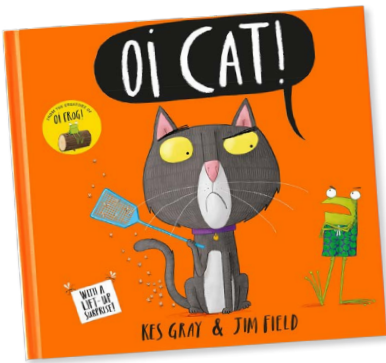
- 読むことを面白く楽しいことにしましょう。子どもたちは見たり、真似をしたり、他人と交流したりすることによって読書について学びます。
- お子さんに本を選ばせて、興味のある本をもう一度読みましょう。
- 読み始める前に、本について話してください。題名について話したり、物語で何が起こるのか話したりしましょう。
- 絵について、またその物語にどうしてその絵が描かれているか話し合しましょう。
- 読みながら、「次はどうなると思う?」「なぜそう思うの?」など物語についてお子さんに質問してください。
- 読み終わった後、物語について話しましょう。「物語のどの部分が一番良かった?」とか「物語で何が面白かった、おかしかった、悲しかった?」などと質問してください。
- お子さん、兄弟姉妹あるいは友だちが好きな物語を交替で読みましょう。
- 新聞、雑誌、ポスター、道路標識、レシピ、お買い物リストなどさまざまなものから読む材料を選んでください。

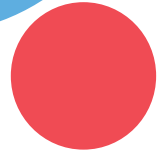
韻をふむ英語の本



読書、言語、単語で楽しむ

- 韻を踏んだり、なぞなぞが含まれている英語の本を選びましょう。
- 韻について話してください。Cat、hat、sat、bat は英語で韻を踏む単語の例です。なぜならばすべて同じ音で終わるからです。
- 韻を踏む言葉で遊び、英語で押韻遊びをしましょう。“Have you ever seen a snail deliver the mail?” など、韻を踏む文章を作ってみましょう。

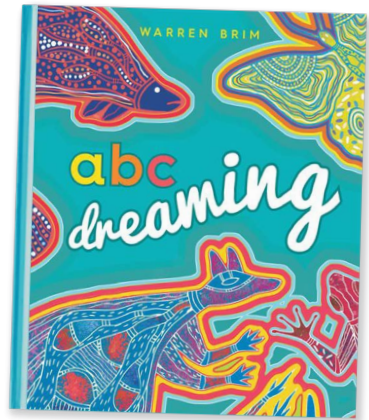
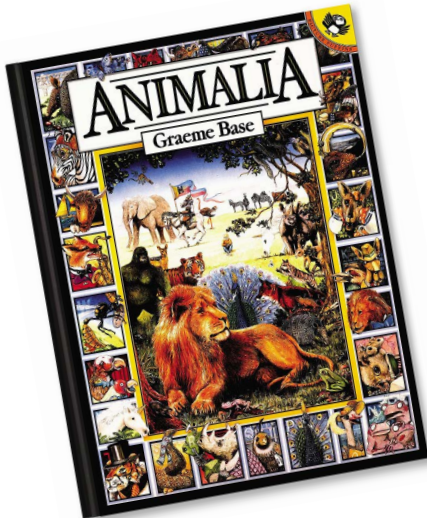
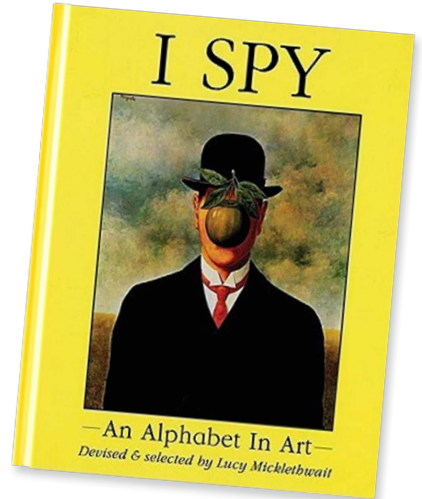
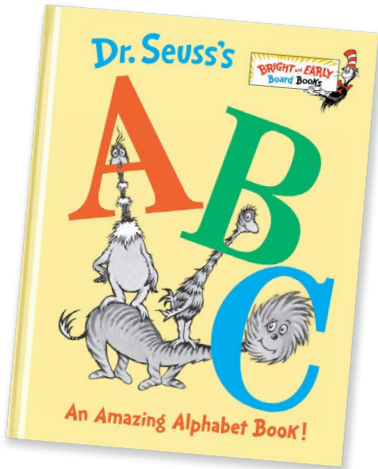




文字の発音で遊びましょう

- **文字の発音で楽しみましょう。** 同じ発音で始まる単語を使ってたわいない文章を作ってみましょう。
- お子さんに本を読んであげている時、知っている文字を指さして**発音する**ように求めてください。
- お子さんの名前で**発音のゲーム**をしましょう。「あなたの名前はどんな音で始まるの?」「その音は“dad”の最初の音と同じ?」などと質問してください。

文字について扱った英語の本

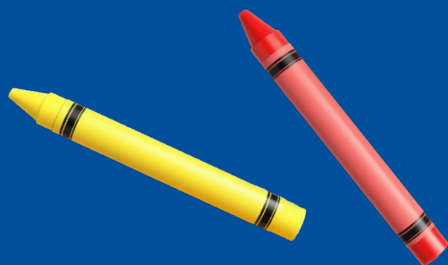




描く・書く

お子さんが興味をもっていることについて絵を描いたり、作文を書いたりするよう励ましましょう。

お子さんに描いた絵や作文について話すように求めましょう。お子さんの物語に関心を示し、どのようにしてその絵を描くことを選んだのか、または作文を書くことを選んだのか尋ねてみてください。



毎日、書きましょう

- **絵を描いたり、文を書いたりするを楽しみましょう。**自分がしたいこと、作りたいこと、遊びたいことなどについて絵を描いたり、文を書いたりするようにお子さんに求めましょう。
- **お子さんが書いたことについて話すように励ましてください。**それは殴り書き、絵、文字、単語について話すことも含みます。
- **チョーク、紙、鉛筆、サインペン、ボールペンなど、絵を描いたり、字を書いたりするのにいろいろな材料を使いましょう。**
- **自分の名前を書くように求めてください。**お子さんは、自分にとって大切な人の名前も書いてみようとするかもしれません。
- **お子さんが書いたり、絵を描いたりしている間、書こうとしている絵について、また文字の発音について話してください。**
- **お子さんが想像力を働かせて、物語を作るよう励ましてください。**絵を描いたり、物語の言葉を書いたりすることによって物語集を作ることもできるのです。
- **家庭で使われている言語でメッセージを書くようにお子さんをサポートしてください。**





目的をもって描く・書く

- 買い物リストを書いたり、家族の中で大好きな人や大好きな本について絵を描いたり、作文を書いたりするように励ましましょう。
- 歌や詩を作り、歌や詩に合う言葉や絵を描いてみましょう。
- お子さんが作っている時、何について描いたり、書いたりしているのかお子さんに説明を求めましょう。
- 興味深いこと、実際に起こったおかしいこと、面白いことについて友だちや家族の誰かに手紙を書くように励ましてください。
- お子さんが毎日書いたり、描いたりできるように小冊子、日誌や日記を持たせましょう。
- お祝いや特別なイベントの招待状やカードを作りましょう。



メッセージについて話しましょう

- 自分が送りたいメッセージを創作するように求めましょう。「犬に注意」のようなポスターとか、自分たちがしたいことについて先生に書く手紙でも良いでしょう。
- お子さんの文化あるいは体験や関心の一部である日常使う言葉を使いましょう。
- お子さんが書いた、あるいはお子さんといっしょに読んだ物語や手紙について話しましょう。
- 話す時、いろいろな単語を使って、文章にして話すようにお子さんをサポートしてください。







計算能力

子どもの 計算能力の 開発を助ける

計算能力は、日常の生活で数字がどのように機能するか理解することと関連します。

私たちは毎日数字を見て使います。本を読む時、ページに数字が使われています。私たちの家にも番地があり、私たちが何かを買う時、数を足したり引いたりします。

計算能力に向けてお子さんが前向きな態度を示すように助けましょう。

家庭で話される言語で計算能力を育てることが大切です。



数字・数を数える

子どもたちが早期に身につけるスキルは数を数えることです。数を数えることとは：

- 正しい順序で数字を言い、思い出せること
- 数字と物の数が一致すること
- 最後に数えた数字が物の合計の数だと分かることです。

使用する言葉

- 小さい数から大きい数へと順番に数える／
大きい数から小さい数へと順番に数える
- 一つ前の数、一つ後の数
- 以上、以下
- ～と同じ

数字の英語表記

0 zero 1 one

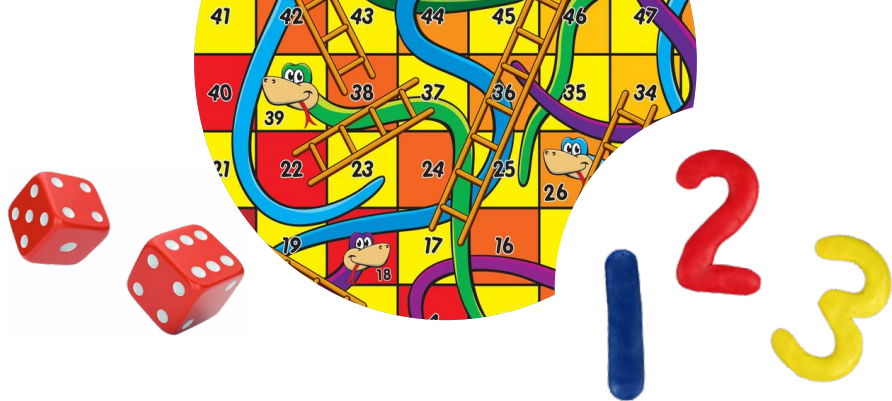
2 two 3 three

4 four 5 five

6 six 7 seven

8 eight 9 nine

10 ten

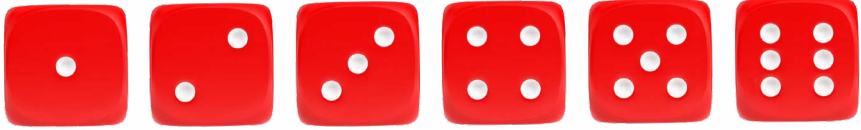


数について学ぶことを励ますアクティビティ

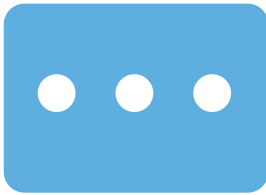
- お子さんが数字と量を認識するのを助けるために**数と点のあるサイコロ**を使いましょう。「サイコロにはいくつ点がある？」とお子さんに尋ねてください。
- サイコロを使って数を数える**ゲーム**をいっしょにしましょう。
- **物語を読んで分かち合**いましょう。数を数えること、量、ページ数を含めて本に出てくる数字について話しましょう。
- **散歩している時、お子さんに数字を見つけるようにと求め**ましょう。「どの数字が見える？」とお子さんに尋ねてください。家の番号、車のナンバープレートや道路標識について話しましょう。
- 時計や電話などの日用品に見られる**数字について話**しましょう。役に立つ番号をお子さんが思い出せるように助けましょう。

物の数や点の数を認識する

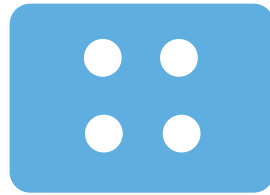
サイコロの点のパターン



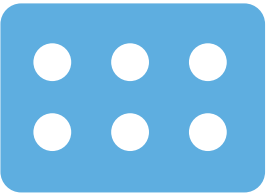
点のパターン



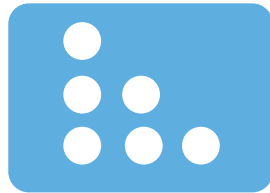
3



4

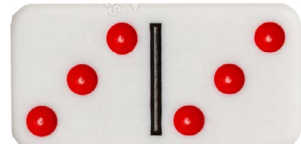
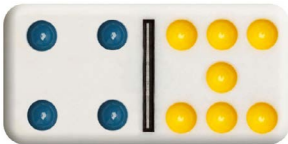
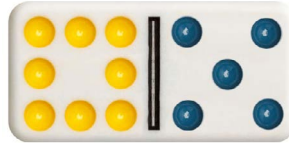
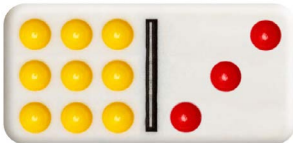


6



6

ドミノの点のパターン



お子さんといっしょに数を数える

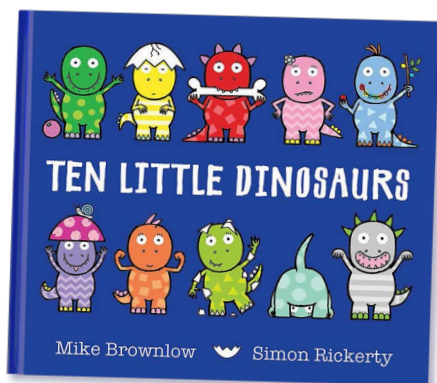
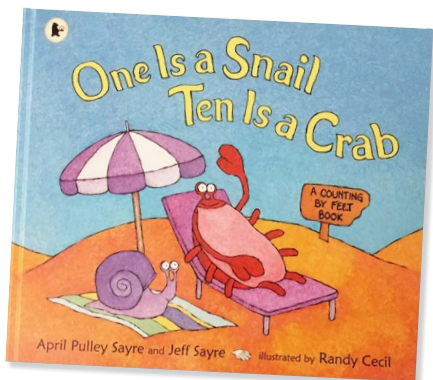
- 家の中で何かしながら数を数えましょう。一緒に簡単なお料理をして、お子さんに材料を数えさせましょう。
- 家族の食事のための**食卓の準備の手伝いをするようにお子さんを励ましましょう**。人数、食卓に必要なお皿やカップ、フォークやスプーンの数をお子さんといっしょに数えてください。
- 学校のシャツを着る時、ボタンの数をお子さんといっしょに**数えてください**。
- お子さんにお弁当箱の中に**何品目入っているか数える**ように求めてください。
- **小さい数から大きい数へと順番に**。車、家、靴、バッグなど日常の品目を数えましょう。
- **大きい数から小さい数へと順番に**。階段を下りたり上ったりしながら数える。10, 9, 8

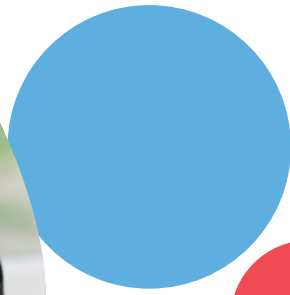
数を数える歌 (英語)

- Here is the Beehive
- Five Little Ducks
- The Ants Go Marching
- One, Two, Buckle My Shoe
- Five Cheeky Monkeys Jumping on the Bed
- Ten Green Bottles



数字および数を数えることを扱った英語の本





足し算・引き算

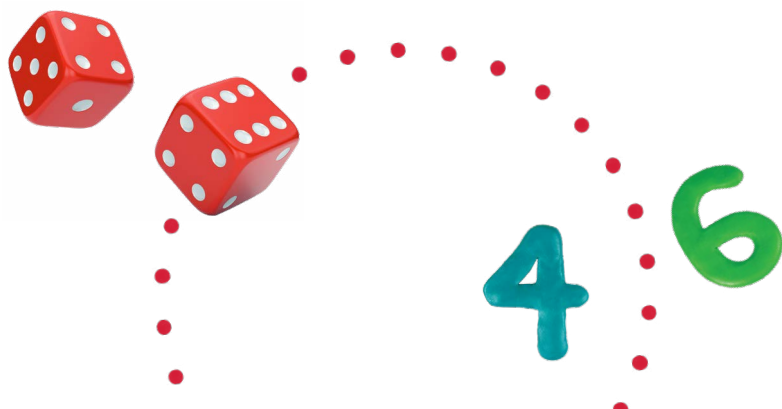
年少の子どもたちは、足し算と引き算の感覚を養う必要があります。これには二つ以上の物を組み合わせたり、取り除いたり、物を分けたりすることも含まれます。

使う言葉

- 合わせる、足す、～になる
- ～より少ない、～より多い
- 全部で
- 差し引く
- あといくつ

足し算を促すアクティビティ

- おもちゃ、果物、本、日用品の量を足しましょう。子どもたちは足し算をするのに指を使う場合もあります。
- 歩きながら、例えば庭の花など、目に入る異なる物の数を足してみましょう。
- カレンダー上で、学校に行った日や何かの活動をした日に印をつけるように促しましょう。週末にそれぞれのアクティビティをした日の数を足してみましょう。
- 買い物に行った時、買わなければならない物について話してみましょう。「家族のみんなに買うとしたら、ぜんぶで何本バナナがいる？もう一本買うとしたら、ぜんぶで何本になる？」などと質問をしてください。
- 二つのサイコロで足し算をするような遊びをしてみましょう。
例 "Snakes and Ladders"

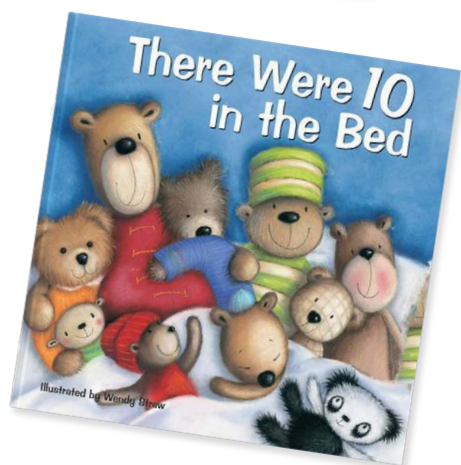
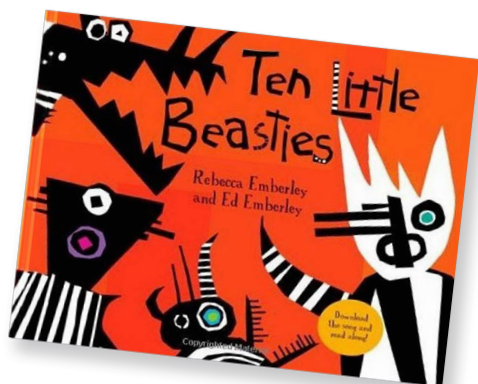




引き算を促すアクティビティ

- **日用品を引き算する。**お弁当箱に入っている品目を数えて、取り去っていくにつれて引き算をしましょう。
- **食べる時、何品あるか数えましょう。**「ぶどうをいくつ食べたの?」「いくつ残っている?」などと質問してください。
- 卵を箱から出したり、バナナを房から取ったりしたときなど、**ものが取り除かれた時、お子さんが違いに注目する**ように促しましょう。
- 一つずつ取り去られると数が減っていく "Five Little Ducks" などの歌を歌いましょう。
- 「ボウルの中りんごが5つあります。私が2つ食べたら何個残るでしょう?」といった**質問を**してください。

足し算と引き算を扱った 英語の本



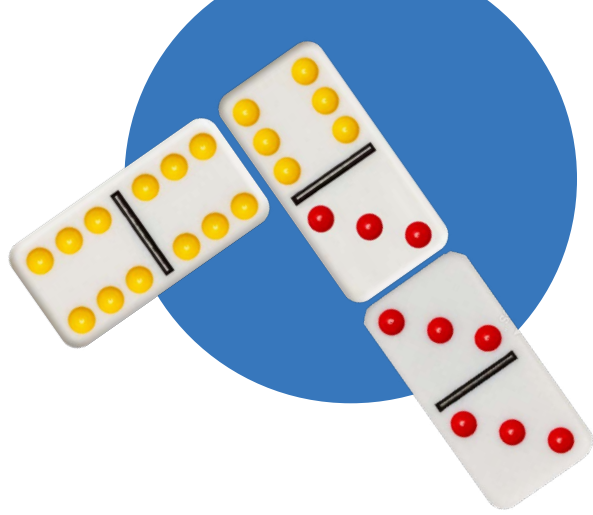


パターンを見分ける・作る

パターンはセットの繰り返しです。図形、音、数字、物体などからなります。

子どもたちは日常の活動を通して、パターンを認識し、見分け、作り、模倣したり、続けたりすることを学ぶことができます。





使う言葉

- 繰り返す
- 続ける
- 作る
- 見分ける
- 説明する
- パターン
- 同じ
- 違う

パターンを認識して見分ける

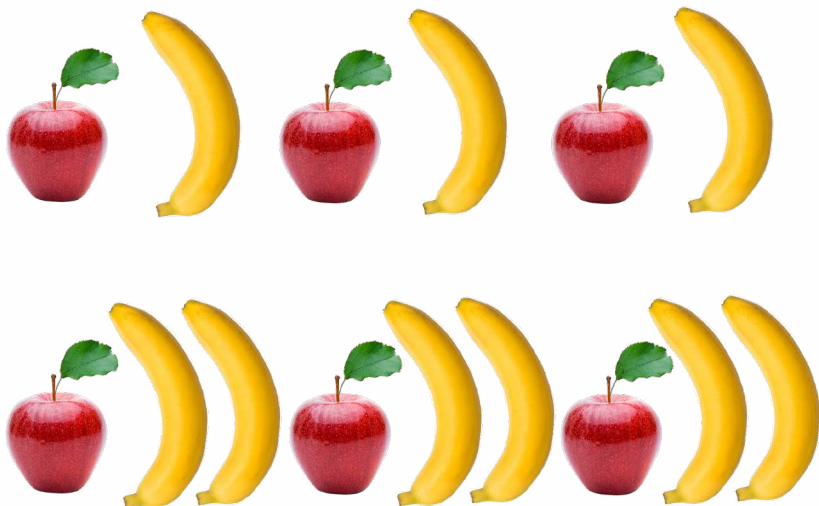
- 包装紙、バスルームのタイル、ドライブウェイなどのパターンを見分けましょう。異なったパターンや何がパターンを作っているかについて話しましょう。
- パターンについて話しましょう。「なぜ、それはパターンなの?」「このパターンを続けられる?」などと質問してください。
- お子さんがパターンを認識するのを助けるためにカード、ドミノ、サイコロを使ってゲームをしましょう。

パターンをまねる

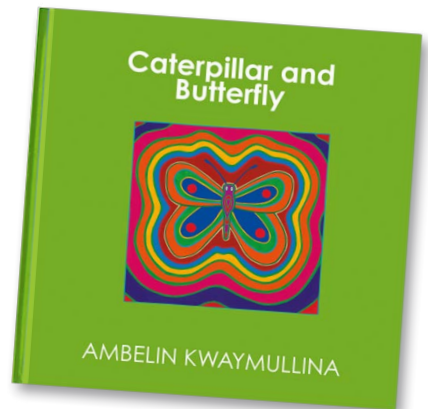
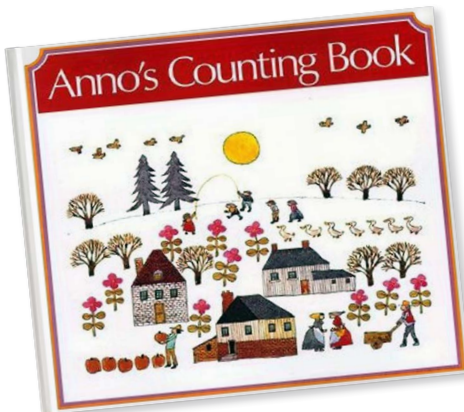
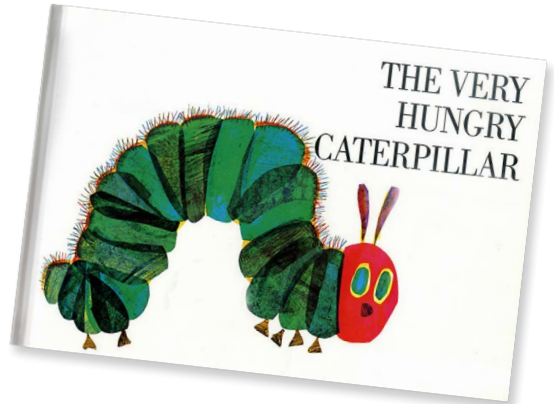
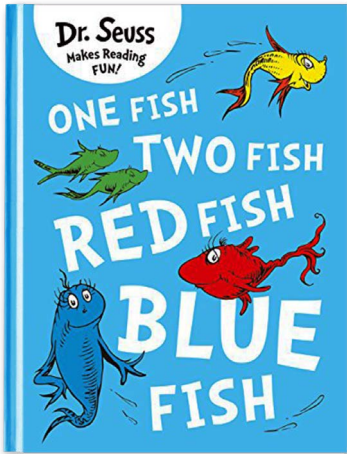
- 手をたたき、お子さんが同じパターンで繰り返すというゲームをしましょう。また逆に、お子さんに手をたたくよう促し、あなたがそのパターンを繰り返して遊びましょう。
- お皿とスプーン、お皿とスプーン、お皿とスプーンといった具合にパターンを作っていっしょに食器を食卓に並べましょう。

パターンを作る

- おもちゃ、果物などの日常のものでパターンを作りましょう。
- 簡単なパターンから始め、その後りんご1個、バナナ2本、りんご1個、バナナ2本、りんご1個、バナナ2本とより複雑なパターンを作りましょう。



パターンを扱った 英語の本





お子さんの英語の読み書き能力開発に役立つ本

会話力と語彙力の育成に役立つ本

Dunbi the Owl – Daisy Utemorrhah, editor Pamela Lofts. Scholastic Australia

Possum Magic – Mem Fox, illustrator Julie Vivas. Omnibus Books

Splash for the Billabong – Ros Moriarty, illustrator Balarinji. Allen and Unwin

The Day the Crayons Quit – Drew Daywalt, illustrator Oliver Jeffers. Harper Collins Children's Books

The Echidna and the Shade Tree – Mona Green, editor Pamela Lofts. Scholastic Australia

The Little Refugee – Anh and Suzanne Do, illustrator Bruce Whatley. Allen & Unwin Children

The True Story of the 3 Little Pigs – Jon Scieszka, illustrator Lane Smith. Penguin

The Very Cranky Bear – Nick Bland. Scholastic Australia

韻を含む本

Miss Spider's Tea Party – David Kirk. Scholastic Inc

No Way Yirrikipayi! – Alison Lester. Pan Macmillan Australia

Pig the Pug – Aaron Blabey. Scholastic Australia

Piranhas Don't Eat Bananas – Aaron Blabey. Scholastic Australia

Oi Cat! – Kes Gray, Jim Field. Hachette Australia

Sebastian Lives in a Hat – Thelma Catterwell, illustrator Kerry Argent. Omnibus Books

Walking Through the Jungle – Stella Blackstone. Barefoot Books

The Cat in the Hat – Dr Seuss. Random House

文字について扱った本

ABC Dreaming – Warren Brim. Magabala Books

Animalia – Graeme Base. Picture Puffins

Dr Seuss's ABC – Dr Seuss. Random House

I Spy, An Alphabet in Art – Lucy Micklethwait. Greenwillow Book

ここに掲載された本は、さまざまな目的で読み書き能力、計算能力の開発全般に利用できます。

ウェブサイトを開覧のうえ、お子さんが学校で良いスタートを切るのに役立つ他の資料もご参照ください：

education.nsw.gov.au/lit-and-num-at-home



お子さんの計算能力開発に役立つ 英語の本

数字および数を数えることを扱った本

Counting on Community – Innosanto Nagara. Seven Stories Press, Penguin.

Counting with Tiny Cat – Viviane Schwarz. Walker Books

Five Little Ducks – Penny Ives. Child's Play International Ltd

One is a Snail, Ten is a Crab – April Pulley Sayre and Jeff Sayre, illustrator Randy Cecil. Scholastic Australia

One Woolly Wombat – Kerry Argent. Scholastic Australia

Ten Black Dots – Donald Crews. Scholastic Australia

Ten Little Dinosaurs – Mike Brownlow, illustrator Simon Rickerty. Orchard Books

Ten Little Jarjum – Tabulam Aboriginal Community members, editors Suzi Williams and Kate Merrifield. NSW Board of Studies

Ten Scared Fish – Ros Moriarty, illustrator Balarinji. Allen and Unwin

足し算と引き算を扱った本

Five Little Monkeys Play Hide-and-seek – Eileen Christelow.
Houghton Mifflin

Ten Little Beasties – Rebecca and Ed Emberley. Macmillan

Ten Little Fingers and Ten Little Toes – Mem Fox, illustrator Helen Oxenbury. Puffin Books

Ten Little Ladybugs – Melanie Gerth, illustrator Laura Huliska-Beith. Intervisual Books Inc

There Were 10 in the Bed – illustrator Wendy Straw. Sweet Cherry Publishing

The Shopping Basket – John Burningham. Random House

Uno's Garden – Graeme Base. Penguin Books, Puffin

パターンを扱った本

Anno's Counting Book – Mitsumasa Anno. Harper Collins

Caterpillar and Butterfly – Ambelin Kwaymullina. Fremantle Press

One fish, two fish, red fish, blue fish – Dr Seuss. Random House

The Very Hungry Caterpillar – Eric Carle. Hamish Hamilton Press

© State of New South Wales (Department of Education), 2020.

The copyright material published in this resource is subject to the Copyright Act 1968 (Cth) and is owned by the NSW Department of Education or, where indicated, by a party other than the NSW Department of Education (third-party material).

Copyright material available in this resource and owned by the NSW Department of Education is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International (CC BY 4.0) licence. This licence allows you to share and adapt the material for any purpose, even commercially.

Attribution should be given to © State of New South Wales (Department of Education), 2020.

Material in this resource not available under a Creative Commons licence:

- the NSW Department of Education logo, other logos and trademark-protected material
 - material owned by a third party that has been reproduced with permission.
- You will need to obtain permission from the third party to reuse its material.

電話通訳サービス

さらに詳しい情報をご希望の方は学校長まで直接お問い合わせください。お電話の際に通訳を必要とされる方は、電話通訳サービス (TEL: 131 450) までおかけになり、日本語の通訳をご指定ください。このサービスは無料でご利用いただけます。